



TITLE:

<雑録>雲岡だより(一)

AUTHOR(S):

水野, 清一

CITATION:

水野, 清一. <雑録>雲岡だより(一). 東洋史研究 1941, 6(4): 306-306

ISSUE DATE:

1941-09-10

URL:

<https://doi.org/10.14989/145739>

RIGHT:

龍谷學報 第三三〇號

天親の淨土觀——特に十八圓淨說を

中心として—— 神子上惠龍

宋僧契嵩の五山禪僧に及ぼせる思

想的影響 荻須 純道

★

紀元二千六百年記念史學論文集

慧超往五天竺國傳逐錄 羽田 亨

蘇莫遮攷 那波 利貞

毘沙門天信仰の東漸に就いて 宮崎 市定

金の海陵王燕京遷都の一考察 田村 實造

察罕編紀年纂要考 石濱純太郎

界藩山行 鷺淵 一

元の昭宗の年號「宣光」に就いて 神田喜一郎

平郡廣成等の謁見したる峴崙王 杉本直治郎

宋代坊場の民間經營について 曾我部靜雄

後魏刑官考 内田 吟風

滿洲あなぐら考 今西 春秋

金世宗即位事情の一考察——特に
世宗と遼陽渤海人との關係につ

いて 外山 軍治

フランク・發郎・拂林 藤枝 晃

海都の叛いた年次に就て 愛宕 松男

支那水運路の發達とその舟 藤田 元春

支那社會の自然的基礎 米倉 二郎

浙江省紹興出土の遺物と其の遺跡

付法藏傳と雲崗石窟 梅原 末治

滿洲熱河省大名城發見の近代石棺 水野 清一

等について 島田 貞彦

百濟文物の溯源に關する一考察 齋藤 忠

★

説文 第二卷五號

説文假借攷

續紛

元尊勝陀羅尼咒石幢漢字題記考釋 丁 福保

中國西城探檢報告書 蔡 鳳 圻

文身與岡騰的關係 胡 小 石

中國石器時代底生產技術 陸 翔 譯

孔子的政治學說 陳 志 良

先秦哲學的時代背景 陶 大 鏞

史記伍子胥傳注 陳 汝 惠

素紫軒雜鈔 胡 理 茲

殷 衛 聚 賢

雲岡たより (一) 水野 清一

北京もあつし、張家口もあつし、雲岡にきてはつとしたところ、こゝもなか／＼に照りが烈しい、朝夕は涼しいが、夜のはあつきにはいさゝか閉口してゐます。今年は滿鐵の調査隊がボーリングをやつてゐますので、二六時中カタ／＼と機械の音、電設の人々が大勢仕事してゐるので、いかにも建設期に入つたやうな觀もあります。それはよく眼でせうか、見物人は少い、それに内地からの人はさすがに少いやうです。今年はいよ／＼曇曜の五窟にとりかゝります。三人が／＼でいま基準をつてゐる最中です。これだけで二週間かかりました。これははじめにはやらなかつたことです、だん／＼餘分のこと加つてきます、それに曇曜五窟の無規則さといつたら全く言語同斷です、この石窟の作者は建築家にあらず、彫刻家なりとつく／＼おもひます、それに全く佛像だけつくつて何もつくりだしてないことに驚いてゐます、なかなかのしつかりものです、でも大きいだけ愉快です。(七月五日付森鹿三氏宛通信)